

WHITE PAPER
ON THE ENVIRONMENT
IN SUITA 2021

吹田市環境白書 2021

はじめに

昨年、地球温暖化対策に係る国際的枠組みである「パリ協定」が実行段階に入り、新たな段階を迎えています。また、多量排出国であるアメリカが本年2月にパリ協定に復帰するなど、気候変動対策に向けて世界全体で一丸となって取り組んでいます。

また昨年10月に、世界全体のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の実現に向けて、技術革新の確立と社会実装の実現をテーマとした、関連する6つの国際会議が「東京ビヨンド・ゼロ・ウィーク」として一体的に開催されました。

我が国においては、昨年10月に「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指す」ことを宣言しました。本年5月には「地球温暖化対策の推進に関する法律」が改正され、2050年までの脱炭素社会の実現等が基本理念に盛り込まれています。

またレジ袋有料化義務化（無料配布禁止等）を趣旨とした「容器包装リサイクル法」の関係省令の改正が昨年7月に施行され、使い捨てプラスチック削減に向けた取組も進んでいます。

本市においては、昨年2月に吹田市第3次環境基本計画を策定し、総合的かつ分野横断的な視点で重点的に取り組む3つの重点戦略を掲げ、環境課題の解決に向けた5つの分野的目標を設定するなど、取り組むべき内容を整理しました。

また本年2月に、気候変動危機を喫緊の課題として重く受け止め、地球温暖化対策を広域で進めることにより持続可能な社会を未来へつなぐことを目的として、豊中市と共同で「気候非常事態宣言」を行いました。

更に同月に、吹田市第2次地球温暖化対策新実行計画を策定し、長期目標として、「2050年までに市域の年間温室効果ガス排出量を実質ゼロにする」ことを定めています。

昨年はエネルギー消費量及びごみ排出量の削減が一定進んだものの、目標達成に向けて、継続的な削減が必要です。今後、より一層のエネルギー消費量やごみ排出量の削減のため、市民・事業者によるライフスタイルや事業活動の転換に向けた、さらなる取組が必要です。

本書は、本市が実施している環境施策の進捗状況と環境の状況についての報告書です。本書をとりまとめることで、環境基本計画に掲げた目標の到達度合いを確認し、施策の見直しや充実を図ります。あわせて、身近な環境に関心を持ち、自らのライフスタイルを環境の視点から見直すきっかけとなれば幸いです。

—環境白書の編集について—

この環境白書は、吹田市環境基本条例に基づいて毎年発行しているものです。

令和3年版（2021年版）は、データや集計については、令和2年度（2020年度）における実績をとりまとめました。それ以外の記述は、令和3年（2021年）10月初旬時点での状況です。

本書は、現在課題となっていることにスポットをあて、まとめています。詳細なデータは資料編にまとめ、吹田市ホームページに掲載しています。本書とあわせてご活用ください。

目次

第1章 吹田市の環境政策	1
第2章 目標の達成に向けた重点戦略	3
第3章 目標達成への施策の展開	
第1節 エネルギー	7
再生可能エネルギーの活用を中心とした低炭素社会への転換	
第2節 資源循環	15
資源を大切にす社会システムの形成	
第3節 生活環境	19
健康で快適なくらしを支える環境の保全	
第4節 みどり・自然共生	27
自然の恵みが実感できるみどり豊かな社会の形成	
第5節 都市環境	31
快適な都市環境の創造	
第4章 環境基本計画に基づく進行管理	37
資料編 環境まちづくりデータ	39
(資料編の内容は吹田市ホームページに掲載しています。)	
1 環境基本計画	
2 環境関連条例	
3 環境基本計画の進行管理	
4 環境関連資料	
5 吹田市まちづくり用語集	
6 環境年表	
7 環境記念日	